東京湾

袖ヶ浦 __ 360 万kW

Q1、なぜいま石炭火力発電所なのでしょうか?

A1、「第 4 次エネルギー基本計画」で、国は石炭火 力発電をベースロード電源(※)と位置付けてい ます。また、安倍政権は成長戦略として、インド ネシアなどに石炭火力発電所のプラントを積極的 に売り込んでいます。さらに電力自由化に伴う価 格の低い電気への需要にこたえるため、国は安い 電気をたくさん作らせようとしているのです。(※ ベースロード電源:発電コストが低兼で昼夜を問 わず安定的に稼働できる電源。原子力、石炭(火力)、 水力(流れ込み式)、地熱)

O2、どんな問題が考えられ ますか?

A2、煙突からの硫黄酸化物 や PM2.5 などの大気汚染物 質はぜんそくなどの原因に なります。また、石炭火力 は大量の二酸化炭素を出す ので地球温暖化にも大きな 影響があります。

03、電力は足りないの?

A3、将来日本の人口が減る ので、電力需要も減ると試 算されています。

みんなで意見を出しましょう

- ・ 千葉パワー (株) 総務部 03 - 6269 - 9290
- 環境影響評価(アセスメント)について 千葉県環境生活部環境政策課 043-223-4135 千葉市環境局環境保全部環境保全課 043-245-5141
- ・大気の汚れについて

千葉県大気保全課 043-223-3802

千葉市環境規制課 043-245-5189

参考:石炭発電所新設ウォッチ・石炭発電所新設マップ

114万kW 大井(長期計画停止)

JR 東日本川崎 65.5万kW 川崎天然ガス 847, 400 k W -川崎 342 万 k W 東扇島 200万kW

163.8万kW 南横浜

115万kW 火力発電所 120万kW 石油、石炭など 既 存【LNG(LPG) 最大出力 47万kw以下

君津共同 115.29 万kW

富津 504 万 k W

(仮称)横須賀 30 万 kW

(2017年廃止)

温排水

(仮称)蘇我 107万kWi

五井(長期計画停止

360万kW 計画中止

千葉袖ケ浦(仮称) 200万kW

千葉市内に発電所が必要と考えるか

必要ない96.6%

必要 3.4%

蘇我に火力発電所ができることについて

反対 99.1%

替成 0.1%

10000 人アンケート調査より 6月7日時点で311名回答





石炭火力発電所は環境を汚します



千葉市蘇我に 計画中の 石炭火力発電所

(仮称)蘇我火力発電所建設計画 計画段階環境配慮書のあらまし」より



名称	(仮称) 蘇我火力発電所
建設	千葉市中央区川崎町1番地
予定地	JFE スチール(株)東日本製鉄所構内
発電方式	超々臨界圧発電方式(USC)
出力	約 107 万 k W(発電端)1 基 🥿
燃料	石炭+副生ガス
着工	平成 32 年(予定) 原発1基分
運転開始	平成36年(予定) 相当
事業主体	千葉パワー株式会社(中国電力(株)
	JFEスチール(株)が出資し 2017. 4.3 設立)

計画概要(中国電力(株)、JFE スチール(株)の説明資料)より

住宅密集地域のすぐ近くに、大規模な石炭火力発 電所計画があることを知り、多くの方にその問題を 伝えたいと活動しています。一緒に活動してくださ る方はご連絡ください。

連絡先・発行:蘇我石炭火力発電所計画を考える会

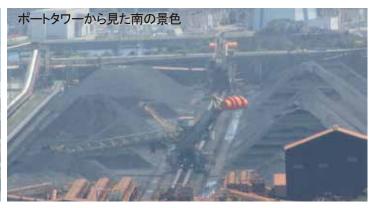
事務局:090-7941-7655 (小西)

発行日:2017年7月1日

空気の汚れが気になります







空気の汚れに関して 1万人アンケートより(6月7日時点で311名回答)



- 子どもの健康が気がかり
- ・風向きによりとにかく匂うので、洗濯物を干すの をためらう。
- ・中央区問屋町で清掃の仕事をしている。雑巾がべたべたで、バケツの水が黒く砂鉄のようなものが底に残る。
- ・ベランダが真っ黒。鉢物の葉に積もるほど。

- ・窓の隙間から黒い粉が入る。
- ・窓を開けるとすぐに、家の中が黒くザラザラに なる。
- ・掃除をしても1日でベランダや窓・網戸など黒い 粒子が付着して真っ黒に汚れる。
- ・車庫に屋根があるのに、白い車が真っ黒になる。
- ・車の上に鉄粉が積もり錆びる。

あおぞら裁判 市民による大気汚染との戦い(川鉄公害訴訟)

千葉市蘇我に 1951 年にできた川崎製鉄所は生産規模をどんどん拡大 し、工場からの煙で住民に重大な健康被害が発生しました。

「赤い煙を出さないで」「夜中にへんなにおいやキンキラキンを出さないで」と子どもたちの作文にも書かれ、医師、学校の先生、行政職員、お母さんなどさまざまな人が参加した「千葉市から公害をなくす会」が1972年に結成されました。

市民の2割以上7万5千人もの賛同を集めて「公害防止基本条例制定」の直接請求がなされましたが、結果は却下。1975年、ついに住民が提訴。

これが「**子どもたちに青空を**」という願いをこめて「**あおぞら裁判」** と呼ばれるようになったのです。



いろいろな人が参加したあおぞら裁判

裁判では、高校生をはじめ多くの市民による測定データが提出され証拠となりました。1992年、裁判は長い年月をかけて両者の間で全面合意を得ました。この結果はその後全国の裁判に影響を与えたのです。

千葉の青い空は、長い年月をかけて市民の手によって取り戻されつつ ありますが、まだまだ解決していません。



